

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念の共有 | | | |
| 1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。 | 独自の理念「六つの誓い」があり、事業所の運営方針に基づいてユニットの方向性を定めています。 | | |
| 2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | 入社時の研修で周知され、「六つの誓い」を毎朝の申し送りで唱和しています。都度検証し、毎月の会議の中でも、理念実現に向けて討議を行っています。 | | |
| 3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 | ご家族様へは入居時に説明を行い、玄関、ユニット内に理念の掲示をしています。地域イベント、町内会議、新聞の発行、回覧板の活用を行い地域広報を行っています。又、地域運営推進会議でも理念説明を行っています。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 日頃より挨拶を行い、防災訓練やイベント等に参加してもらったり、子供が遊びに来たりと、おつきあいを行っています。 | | 今後もこの関係を大切に継続し、近所の方々との良好な輪を広げていきたい。 |
| 5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | 町内行事やゴミ拾いに参加し、恒例のイベントでは顔馴染みになってきています。市内の催し参加、他のグループホーム行事においても交流を深めています。 | | |
| 6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | リングブルを集め、地域貢献を行っています。又、さくら便りに介護予防コーナーを設ける事を継続し取り組んでいます。 | | 地域に貢献出来ているのか実感が少ないので、今後も取り組み内容を模索していきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|---|---|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> | <p>職員一同で見つめ直し、振り返り、厳しく評価した上で、改善に取り組んでいます。</p> | <p>今後の課題に直視し、励みとすることが出来る様に取り組んでいきたい。</p> |
| 8 | <p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> | <p>運営推進会議で、報告・情報公表・意見交換を行い、サービス向上に努めています。時には他のグループホーム職員にも参加してもらっています。</p> | |
| 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | <p>地域包括支援センター、社会福祉協議会との関係が深まってきており、相談しながらサービスの質の向上に向けて取り組んでいます。</p> | |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | <p>内容を理解している職員は少ないが、勉強会開催又は適時に伝えていきます。</p> | <p>勉強会開催及び各自が自主学習し、必要に応じ支援ができるようにしたい。</p> |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>理念実現に向けてケアが行われている為、虐待はありません。又、研修参加や勉強会開催により、防止に努めています。</p> | <p>意識が希薄にならない様に適時勉強会を開催し、呼び掛けていきたい。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約・解約の際に詳しく説明し、理解・納得を図っています。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|-----------------------------------|
| 13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 入居者様からの意見等については、内容・改善点を記した報告書を作成し、全職員が周知する様に努め、運営に反映しています。 | ○ | 改善事項を周知・継続出来るよう取組んでいきたい。 |
| 14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | ご家族様来訪時にはケース記録の提示と近況報告、受診の際は電話で報告。来訪回数の少ないご家族様については、月に1回在所確認書と共に手紙を送付し、入居者様の様子等の報告をしています。 | | |
| 15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | ご意見箱が設置され、公的窓口の紹介も行っています。ご家族様からの意見等については、内容・改善点を記した報告書を作成し、全職員が周知する様に努め、運営に反映しています。 | ○ | 苦情への対応に当たる際は、ご家族様の背景を踏まえ、行っていきたい。 |
| 16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 意見・要望については、適宜又は面談の際に聴くようにしています。月に1度の全体会議に本社の職員も参加し意見を伝えられる場を設けています。 | ○ | 発信者が責任を持って、意見を述べていく様に働きかけていきたい。 |
| 17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。 | 状況に合わせた勤務調整を行っています。 | | |
| 18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 職員の離職を抑えるため、職場環境の整備や配慮、面談を行っており、皆で支え合っていける環境作りに努めています。異動・離職等を入居者様によってはお伝えしない等の配慮をしています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>事業計画で、外部研修及び職員教育について立案し、実行しています。新入OJTプログラムは、都度組み直し作成しています。</p> | <p>個々の経験・力量に応じた教育計画が必要であり、検討していきたい。</p> |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | <p>他のグループホーム行事、地域で行われる研修や講座に参加し、知り合った方々と継続し交流が出来る様に努めています。</p> | <p>市内グループホーム、グループホーム協議会の活動を通して交流を深めていきたい。</p> |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | <p>定期的な面談を実施しています。</p> | <p>役職者を中心にストレスマネジメントを学んでいきたい。</p> |
| 22 | <p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> | <p>事業所の方針に則り、個々で作成したチャレンジシートを基に育成面談を行っています。</p> | |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>入居時には、何度も足を運び、細かな情報収集を行っています。1つ1つの言葉を拾い、ご本人様の思いを受け止める努力をしています。</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>ご家族様のお話を丁寧に伺い、現状や要望を捉え、一緒に最善策について話し合っています。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-------------------|-------------------------------|
| 25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 細かな情報収集を行い、ニーズを見極めながら職員全員で入居を検討をしています。 | | |
| 26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 見学や自宅訪問によって、ご本人様、ご家族様との関係構築や馴染みの環境作りへの細やかな配慮を行っています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | 一緒に家事を行いながら、入居者様が職員と共に生活しているという実感を持って頂ける様、努めています。 | | |
| 28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 日頃から積極的にご家族様とコミュニケーション図り、こまめに連絡を取り合うことで入居者様との架け橋となったり、ご協力して頂けるご家族様にはご入居者様と一緒に家事や行事参加をして頂ける様、働き掛けています。 | | |
| 29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | 過去の状況から現在に至るまでの経緯を把握し、現状に合った支援が出来る様、入居者様とご家族様の思いを汲み取っています。 | | |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。 | 入居者様にとっての馴染みの方をご家族様からお聞きし、希望に応じてお連れする事もあります。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|-------------------------------|
| 31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 気の合う入居者様同士が過ごせる環境作りをしています。 | | |
| 32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 入院で退居された方へもお見舞いを行い、その後の受け入れ先の相談等も随時行っています。また、年賀状や暑中見舞いを出したり、足を運んで頂ける様行事等にお誘いする等関係の継続に努めています。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 介護計画でセンター方式を取り入れており、細やかなアセスメントを行った上で入居者様のニーズをユニット会議で検討し、意向の反映に努めています。 | | |
| 34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | センター方式の中で細やかな情報収集を行い、ご家族様からも情報提供の協力を頂いています。 | | |
| 35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | センター方式を使用し、生活歴、性格、現在の様子・状態、能力、要望を把握する様努めています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 入居者様やご家族様とのコミュニケーション、パートナー間での情報交換を日常的に行い、課題と方策を会議で検討しています。思いを叶えるための支援を介護計画として立案しています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|-------------------------------|
| 37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 入居日から1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月ごとに見直しを行い、会議の中でモニタリングを実施しています。状態変化の際には見直しを行い、介護計画を変更し支援しています。 | | |
| 38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | ケース記録に介護計画に沿った記入を行い、介護計画の進捗状況の把握、見直しや実践に役立てています。又、都度話し合い、伝達することで情報の共有に努めています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 提携医や看護師による健康管理や、ホーム内で出来る簡単なリハビリ支援、外出等入居者様の思いを叶えるための支援を行っています。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 防災訓練やイベント時には、消防や民生委員、町内の方々のご協力を得られています。 | | この交流の輪を大切に深めていきたい。 |
| 41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。 | 介護タクシーや配食サービスを利用しています。 | | 他のサービス利用も視野に入れ、検討していきたい。 |
| 42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 地域包括支援センターの会議に参加し、情報交換を行っています。 | | 今後も必要に応じて協働していきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------|-------------------------------|
| 43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 提携医があり、看護職員を中心に連携を取り、毎日の健康管理、24時間の緊急対応等の。医療連携体制が整っています。以前から継続している病院のある方は、そちらに受診し主治医に報告しています。 | | |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 地域に認知症の専門医がおらず、精神科医や脳外科医へ相談しています。 | | 提携医療機関に都度相談し、専門医への受診に繋げていきたい。 |
| 45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 事業所の看護職員と医師、又は看護師との連携は深まっており、支援しています。 | | 提携医療機関の看護師との連携を一層深めていきたい。 |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 入院時には、定期的にお見舞いに行き、病院関係者との情報交換や主治医からの病状説明に同席する等連携しています。 | | |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 | 入居者様やご家族様の意向を第一に考え、かかりつけ医の指示を仰ぎながら全員で方針を検討しています。 | | ターミナルに向けての教育、体制作りを行っていきたい。 |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | 週1回かかりつけ医による往診を行い、急変時はすぐに連絡し、指示を仰ぐ様連携を取っています。又、状態に応じ「出来る事・出来ない事」を明確にしご家族様に伝え、今後の受け入れ先等の相談や協力を行う事もご家族様に伝えていきます。 | | 提携医療機関との連携を深め体制作りを行っていきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------|-------------------------------|
| 49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。 | 住み替え時は、住み替え先へ情報提供を行い、入居者様やご家族様とも話し合いの場を設けています。入居者様にも十分な説明を行いながらダメージの軽減に努めています。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。 | プライバシーや羞恥心等に配慮し声掛けを行っています。又、ケース記録等の個人情報書類は、プライバシーマークを記し、鍵付きの書棚に保管されており、ケース記録に他入居者様の名前を掲載しない様注意を払っています。 | | |
| 51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。 | 難聴の方には、身振り手振りや耳元で話させて頂き、1人1人に合わせた説明を行っています。常に入居者様の希望をお聞きし、希望に添えない場合は、謝罪した上で入居者様が納得のいく様な、別の対策を検討し実行しています。 | | |
| 52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 入居者様のペースに合わせて極力希望に添える様に支援し、週間予定に組み込む等、時間の確保を行っています。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | 行き付けの美容室に行ったり、化粧品や洋服選び等1人1人の希望に合わせて支援しています。 | | |
| 54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 一人一人の好みは把握しており、好きな料理をする際には、準備の段階からお知らせしています。各自の出来る作業を行って頂き、食事中にも、誰か切ってくれた物かという事を会話に交え、楽しんで頂く配慮をしています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|-------------------------------|
| 55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | お酒の好きな方には、希望があれば提供し、1人1人の好みに応じて別の飲み物や食べ物をお出ししています。又、嚥下や歯の具合等状態に合った食事形態で食べ物を提供する等、日常的に1人1人に合った支援をしています。 | | |
| 56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 排泄チェック表を使用し、排泄パターンをある程度把握した上で、1人1人に合わせた排泄支援を行っています。極力トイレでの排泄を促し、オムツの使用を減らす努力をしています。 | | |
| 57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 自ら入浴の希望を訴える方は少ない為、入浴の声掛けは職員より行っていますが、曜日や時間の取り決めは行っておらず、入居者様の状態に合わせています。入浴拒否が強い方には時間をずらしたりと、1人1人の状況に合わせて配慮しています。 | | |
| 58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 1人1人の状況に合わせて臥床して頂いたり、ソファで寛いで頂く等休息支援を行っています。居室の電気や物音等、入居者様が落ち着いて安眠出来る様な配慮をしています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 各入居者様の出来る事や好きな事を把握し、役割のある暮らし、自立への支援や楽しみの促しに努めています。 | | |
| 60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 手持ち金を持たれている方には、週1回手持ち金を確認をさせて頂き、適切に使用出来る様に支援をしています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|---|
| 61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 天気の良い日には、散歩や日光浴を積極的に行い、戸外へ出る為の1人1人に合った支援を行っています。 | | |
| 62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 遠方への外出希望があった場合は、予定を立てて外出支援を行っています。また、行事等の外出レクリエーションの企画や地域のイベント等へも積極的に参加し、ご家族様もお誘いしています。 | | |
| 63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。 | 手紙を書くための促し、代筆の支援には至れていませんが、来訪の少ないご家族様と日記の交換をされている入居者様はいます。ご家族様からの電話にはなるべく入居者様にも出て頂き、お話ができるよう支援しています。 | ○ | 来訪の少ないご家族様との交換日記は継続していきたい。 |
| 64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 職員は、来訪された方へ明るく挨拶をし、積極的に交流する事に努め、気軽に来て頂ける関係作りを行っています。又、リビングや自室等落ち着いて談話出来る場の提供を行い、飲み物をお出ししています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束はしないと理念に掲げ、拘束をしないケアを行っています。又、「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を周知する為勉強会を行っています。 | | 言葉による制止や不適切なケアも拘束になる事を伝え、取り組みを強化していきたい。 |
| 66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 防犯上、夜間のみ施錠していますが、日中は施錠せず、自由に出入りされています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|--|
| 67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 入居者様の所在を常に把握出来る様にしています。自室のベッドやベランダ等出入りの多い場所には、了解を得た上で鈴を付けさせて頂きプライバシーに配慮をしながら様子を見守り、職員の間で連携を取りながら安全の確保に努めています。 | | |
| 68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | ハサミや剃刀等は1人1人の状態に合わせて危険予測を行い、お預かりしたり所持して頂いたりしています。 | | |
| 69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 事故を未然に防ぐ為に、些細な事でも事故に繋がりそうな事案はヒヤリハット報告書を作成し、原因や対策を職員で話し合っています。事故に至った場合も原因究明と対策を早急に話し、報告書によって全職員に周知し再発防止に取り組んでいます。火災に関しては、避難訓練や勉強会を設け、危険・搬送方法の理解に努めています。 | | |
| 70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 年一回救急法について学び、緊急、救急、防災マニュアルを整備しているが、全職員が対応できるとはいえません。 | | 定期的に対応の指導、訓練、勉強会を行い、職員が自ら習得する必要性を認識し実行出来るようにしたい。 |
| 71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 年に2回避難訓練が行われ、地域の方々も参加されています。消防署から毎回違った課題の指摘を受け、全職員へ改善するための伝達をしています。 | | 地域の方々の参加を今後も継続して頂ける様に取り組んでいきたい。 |
| 72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | リスクが生じた場合には必ずご家族へ報告し、入居者様にとって何が一番良いのかを相談しながら対策を話し、ご家族様の協力を仰いでいます。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|-------------------------------|
| 73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 毎朝決まった時間帯にバイタルチェックを行っており、1人1人の身体状況の変化を観察しています。夜間帯も巡回を頻回に行い、異変の早期発見に努めています。又、毎日の申し送りにより職員の間で情報を共有し、必要に応じて看護師と相談またはかかりつけ医へ連絡を取っています。救急のマニュアルに沿って対応しています。 | | |
| 74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 薬の目的や副作用等は、医師や看護師から説明があり、記録や申し送りノートの活用により全職員に周知されています。又、薬局からの薬剤情報書をファイルし、すぐに確認出来る様ファイルは常にキッチンに置かれています。 | | |
| 75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 食物繊維の多い物を提供する事を心掛け、牛乳や野菜ジュース、青汁を毎日提供しています。腹部マッサージや体操も行っています。下剤の調整は、都度看護師と相談しています。 | | |
| 76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 1人1人の状態に合わせて対応し、朝・夕の口腔ケアと義歯洗浄を行っています。 | | |
| 77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 水分量のチェックを毎日行っており、少なくとも1日1000cc以上は飲用して頂けるよう、好きな物や、ゼリー等で工夫して対応しています。食事量も場合によってチェック表に記入し、入居者様1人1人の状態に合わせた食事量を提供しています。 | | |
| 78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | インフルエンザ予防接種は、利用者・職員共毎年実施しています。トイレやモップの漂白、消毒液の設置、外出後の入居者様や職員、来訪者のうがい手洗いも徹底されており、感染予防マニュアルに沿って対応しています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|-------------------------------|
| 79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | まな板やコップ、キッチン回りはほぼ毎日ハイター漂白行っています。旬の物を多く取り入れ、新鮮な食材を提供する事に努め、寿司等は外注のみ提供しています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり | | | |
| 80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 建物周辺に花壇があり、日当たりの良い広い玄関で、親しみやすく工夫されています。 | | |
| 81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | カーテン等で光の調節に気を配り、不快な音も無く静かな環境です。生活感を感じられる家具や備品の設置、階段の壁には季節に応じた飾り付けがされています。 | | |
| 82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビングには、大勢で座れる団欒の場があり、独立したソファやテーブルが2ヶ所用意され、思い思いの場所で過ごすことができるよう工夫しています。 | | |
| 83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 入居時にはご家族様と相談しながら家具の検討を行い、長年慣れ親しんだ家具を持ち込まれたり、家族の写真や飾られたりと入居者様が居心地良く過ごせるよう工夫されています。 | | |
| 84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 入居者様にお聞きしながら温度調節を行い、こまめに換気を行う様にしています。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|-------------------------------|
| 85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 車椅子の方でも自走できる様バリアフリーとなっており、十分なスペースが確保されています。トイレもユニバーサルデザインとなっており手摺りもほぼ全域に設置されつたい歩きが出来る様配慮されています。 | | |
| 86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 便所や浴室は、はっきりと解り易く手作りの表示がされています。又、入居者様によって居室の前に表札を付けたりと自立して暮らせるための工夫や声掛け、誘導を行っています。 | | |
| 87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 建物の外回りには畑があり、農作業を楽しめる環境となっています。広いベランダがあり、外気浴をくしたり、洗濯物を干したり定期的に焼き鳥や焼肉等も行われています。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | |
|-----------------|---|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない |

| . サービスの成果に関する項目 | |
|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない |
| 97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない |
| 98 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない |
| 99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

入居者様が生活の主体であることを常に考え、自立に向けた支援、ご家族様との協働に取り組んでいます。